

(単元) ヨーロッパ・アメリカにおける資本主義の確立と国民形成

(本時のねらい)

- ①独立戦争において、13植民地の市民兵が何故イギリス軍に勝利することができたか多角的に考察させる。
- ②アメリカ合衆国の国家形成がその後の世界に与えた影響について、独立宣言の内容にも触れながら理解させる。

(ICT活用方法)

生徒の興味・関心を高めるために、電子黒板を活用して画像や動画等の視覚的なアプローチを行う。また、今までは個別に資料を配布していたが、電子黒板で投影するだけで考えることができ、生徒が苦手とする思考や分析を行いやすくする。さらに、小さな実物教材を全体で共有するために、実物投影機を使い拡大して提示する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 10分	<ul style="list-style-type: none">・合衆国の国旗や「自由の女神」を確認する。・合衆国の位置、13植民地の位置を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・独立時の州と現在の州の数やフランスとの関係を理解させる。・合衆国、13植民地の地図を示して、確認させる。	<ul style="list-style-type: none">・電子黒板で国旗や自由の女神の画像を映し出す。・実物投影機で地図を映し出す。	
展開 35分	<p>【本国イギリスとの対立】</p> <ul style="list-style-type: none">・実物の1ドル札に触れ、気になるところを発表する。・ボストン茶会事件図を見て、疑問点をグループで話し合う。 <p>【独立戦争】</p>	<ul style="list-style-type: none">・1ドル札の情報を読み解きながら、独立革命の説明をする。・適切にアドバスしながら意見をまとめさせる。	<ul style="list-style-type: none">・電子黒板で絵を映し出し、気になる箇所を電子ペンでチェックさせる。	ホワイトボード活用

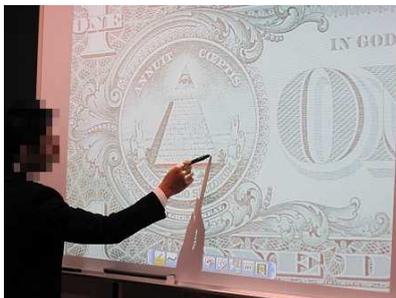
	<ul style="list-style-type: none"> ・実物の2ドル札に触れ、気になるところを発表する。 ・フランクリンの描いた絵を見て、その意味についてグループで話し合う。 <p>【合衆国憲法の制定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合衆国憲法の原文を確認し、その意義について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ドル札の情報を読み解きながら、独立宣言の説明をする。 ・適切にアドバスしながら意見をまとめさせる。 <p>・合衆国憲法の要点について説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板で絵を映し出し、気になる箇所を電子ペンでチェックさせる。 <p>・電子黒板で資料を映し出す。</p>	ホワイトボード活用
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容の整理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命の要点を説明する。 		

(授業の様子)

資料の投影

全体の様子

使用したワークシート



(生徒の反応と課題，改善を要する点)

生徒用タブレット端末を使い、課題について調べさせていけば、資料を活用・収集する技能の育成にも繋げることができた。また、電子黒板で資料をわかりやすく提示することができたが、今後は、個別の生徒の回答や疑問点なども提示して全体で共有し、さらに生徒の考えを深めていきたい。